

小金井市居住支援促進講演会アンケート結果

—令和5年9月5日（火）実施—

1 概要

(1) 当日の来場者数等

	人数	%	
不動産関係者	8人	14.5%	
福祉関係者	12人	21.8%	
居住支援法人	4人	7.3%	
行政職員	20人	36.4%	
その他	市民	7人	12.7%
	行政書士会	3人	5.5%
	他市市民	1人	1.8%
合計	55人	100.0%	

当日来場者数：55人
アンケート回収：48人

行政関係者
東京都
千代田区
杉並区
墨田区

2 アンケート結果

問1 あなたの年代を教えてください。

設問	件数	%
～19歳	0	0.0%
20～29歳	4	8.3%
30～39歳	6	12.5%
40～49歳	10	20.8%
50～59歳	12	25.0%
60～64歳	10	20.8%
65～69歳	2	4.2%
70～79歳	3	6.3%
80歳以上	1	2.1%
計	48	100.0%

三鷹市
国分寺市
青梅市
西東京市
あきる野市
国立市

問2 あなたの職種を教えてください

設問	件数	%
① 不動産業者	6	12.5%
② 大家	3	6.2%
③ 管理会社	0	0.0%
④ 高齢者支援関係者	5	10.4%
⑤ 障がい者支援関係者	3	6.2%
⑥ 子育て支援関係者	1	2.1%
⑦ 生活保護支援関係者	0	0.0%
⑧ 居住支援法人	3	6.3%
⑨ 行政関係者	17	35.4%
⑩ その他	9	18.8%
未回答	1	2.1%
計	48	100.0%

問3 本講演会に参加した理由を教えてください（複数回答あり）。

設問	件数	%
① 居住支援事業に興味があったため	16	25.0%
② 賃貸物件を貸す際の参考にしたいと考えたため	6	9.4%
③ 今の仕事に関係するため	28	43.8%
④ 支援の仕方を学ぶため	10	15.6%
⑤ その他	4	6.3%
未回答	0	0.0%
計	64	133.3%

（その他自由記述）

今年度末に協議会設立を予定しており、設立後の活動の参考にしたいため
居住支援法人として活動しているため

問4 本講演会の内容でもっと詳しく知りたい内容はありましたか？

- 1 大変参考になりました。特に入原さんの講演が良かったです。
- 2 各協議会の具体的な運営組織等について知れたかった。神奈川の令が参考になりました。
- 3 神川居住支援協議会のコーディネーター制度について
- 4 貸主、不動産会社と居住支援法人をつなげるしくみ、取組、工夫「入居後の安心」を見せることの大切さを実感しました。
- 5 入原さんの話
- 6 見守り制度等任意の選択制度でなく、必須の制度として大家さん、不動産、福祉関係の3者が安心できる制度として決めてしまうことが良いと思います
- 7 各地の事例
- 8 三省連携の取組、今後の見通し
都内（近隣自治体）の取組（地方と都内の状況は異なる部分もあると思うため）
- 9 各関係者の前向きな姿勢や協力の大切さを実感できました。
地域の事情（空き家の多寡、生活環境等）による差があるのでその部分はどうするのか。
都会も田舎も一緒に対策は難しい。
- 10 実際に住まいの相談を受けると、精神障害、家賃滞納の方が最も部屋探しに難航すると感じるの、そのような方を含め、個別の課題解決策があれば知りたいです。
- 11 厚労省のテキストの終わりの方に載っていた支援策について、本区でもチェックしていきたいと思いました。
- 12 福祉部局側からの居住支援に係る補助制度等
- 13 見守り支援の方法で小金井市野取組も紹介してほしい。例えば一声かける牛乳配達とか、ふれあい収集など
- 14 たまたま目にした本講演会のタイトルを見て、参加してみる気になった。内容は私の勝手な想像していたものとは違って、帰ろうかなとも思ったが、思い直して聞かせていただいた。私自身がこのような制度を利用することができるのか、という思いがあったのだが、今日のお話はこのようなサービスを提供する側の方に向けてのものであったようだ。
- 15 小金井市の居住支援協議会の中で、実際に地域包括支援センターがどのような役割、関わりを行っているのか、どのような入居後のサービスがあるのか、入居相談や実践など、市の現状についてお話もあと良かった。
- 16 実際に高齢者の住まい探しを支援する際、まちづくり推進課、社会福祉協議会、不動産以外でも紹介する場所があったら教えてほしい。
- 17 「お部屋探しサポート」の内容が気になります。ネットなどで閲覧できるようにしたら見てみたいと思います。
- 18 住宅セーフティネット制度及び福祉施策とのつながり
- 19 セーフティネット住宅なる現状と課題（制度の建付けではなく、運用してる中で見つかった理念とのギャップ）
- 20 住宅セーフティネット制度について
- 21 住宅セーフティネット制度
- 22 学生がOKでも保証会社がOKしないと入居に至らない例が多数あり、難儀している
- 23 支援者の移動、時間、報酬に関する事、コストの出所、原資について、金や「ボラレティア」とかもでてきてコスト意識が不明
- 24 本人（居住希望者）からの視点で、どのようなステップをふんでいけるのか？（下から目線での）

問5 小金井市の居住支援事業についてご意見がありましたらご自由をお願いします。

- 1 本日はお声おかけいただきありがとうございました。小金井市の大家さんや市民の皆さんの生の声をお聞きできて勉強させていただきました。今後ともよろしく願いいたします。
- 2 官民の共働の重要性 見守りの重要性 福祉の重要性
- 3 協議会の活動について、裏面のとおり質問があります。
- 4 社協が委託先ということを知らなかった。もっと広報してほしい
- 5 小金井市社協で居住支援を担当しています。来所される利用者様より居住支援を承っていますが、協力不動産店に依頼をしても1社を除く12社からは何の反応もないので、とても残念です。また、物件が出て、利用者に紹介したとしても、ほぼ拒否されてしまう。「主張をすれば魔法のようにいくらでも物件がでてくる」という風潮、考えについては利用者のみならず、支援者の方も重く受け止め、今後どう対処したらよいか考えていかなければならないでしょう。そうでないと仕事がすすみません。

- 6 ただいま、独居高齢者である私は、この町で住み続けるためにはどういう制度があり、利用できるのかを探っている。子どもは二人いるが、千葉と名古屋と離れて暮らしており、生まれ育った町ではない。小金井に住み続けるが、他所に移すかを考えていたが、最近になってやはりこの地に居られるものなら居たいという気持ちが強くなってきた。このような状況で、例えば認知症になった場合、どのような支援が受けられるのか？生活してゆくことが可能なのか？自宅、シェアハウスにすることを考えたこともあるが、現実では実現は難しいだろう。残された時間は長くない。現実を見据えないといけないと思っている。
- 7 講演会の各講師のお話は、大変勉強になりました。各公演を聞き、入居後の訪問等の見守り支援や退去時の家財整理などのサービスが厚くなっていかないと、貸主側のリスクがなかなかへららないのかなと感じました。
特に介護サービスを受ける受けない、所持があるなしに関わらず、身寄りのない方への訪問サービス等の支援があると良いなと思っています。
- 8 (公社) かながわ住まいまちづくり協会のお話が勉強になりました。小金井市ももっと発展していただけたらと思います。
- 9 まだまだ先は長いと思いますが、必要なことだと思います
- 10 住宅確保要配慮者（実際に住宅を必要としているが、見つからない方）が、どの程度いらっしゃるのか？どのくらい早期に解決すべきなのか？目に見えると問題意識が高まると思います。
- 11 制度の枠組みを改めて確認することができました。また、具体的な話を聞くこともでき、参考になりました。
- 12 検討状況と今後の方向性を極力オープンしていただきたい。
- 13 高齢者や障害のある方について、支援を受けたくない、だけど引っ越したい、のような方への引っ越し方法の提示や提案をしてほしい
- 14 移動の不便（公共交通の乏しい）エリアの住宅活用、コンビニなど買い物不便なエリアの空き物件活用、この辺りにアパートなどの物件が多いため、高齢、障害者の生活支援が不可欠になってくる。

追加のご質問等

- 1 ・居住支援協議会の活動に係る費用について、市でどのような部分を予算化しているか、参考までにご教示いただければ幸いです。また、国の補助金の活用の有無と、活用している場合、何割程度補助が受けられているのかも知りたいです。
・協議会設立後に苦慮している点や課題等あればご教示ください。お手数をおかけしますがよろしく願いいたします。

回答

- ・小金井市の令和4年度の状況について説明させていただきます。
居住支援事業に係った費用

	金額	備考
報償費	5,000円	居住支援イラスト等コンテスト記念品（協力不動産店に貼るステッカーデザインを市民に募集）
需用費	56,421円	消耗品、ステッカー印刷（協力不動産店に貼るステッカー）
役務費	336円	郵便料
委託料	1,529,310円	居住支援相談窓口（令和4年7月1日委託開始、委託先：小金井市社会福祉協議会）
合計	1,591,067円	

居住支援事業に係る補助等

	金額	備考
国費	1,163,500円	住宅市場整備推進等事業費補助金
都費	170,000円	地域福祉推進区市町村包括補助金
市費	257,567円	市支出額から国及び都の補助金を引いた差額
合計	1,591,067円	

- 2・落合先生のご講義で紹介された㈱R65不動産の事例の25P、電気のAI、孤独死保険について、差支えなければサービス名（会社名）を教えてください。よろしくお願いいたします。

回答

あんしん賃貸パック（月額980円～）の制度説明

対象者

高齢者に部屋を提供しようと考えている大家さん、
管理物件に、高齢の入居者様がいらっしゃる管理会社
一人暮らしの高齢者

見守り内容

電気による見守りは、高齢の入居者様のプライバシーを侵害しないように、電気の使用量だけでAIがお部屋を見守るサービスです。電気の使用量を数ヶ月分記録し、そのデータを元に「いつもと違う」電気の使用量を検知することで、登録されたメールアドレスにメールを送信し異常を知らせます。

保険内容

保険は、東京海上日動火災保険の保険を利用し、万が一の場合にも、家賃と現状復帰費用を補償します。（保険料はパックに含まれています）

空室・値引き期間の家賃保証が、最長12ヶ月で、1事故限度額200万円原状回復の費用保証が、遺品整理や特別な清掃・消臭費用等で、1事故限度額100万円

（参考 <http://r65.sunnyday.jp/>）

なお、死亡時の対応については、一定の条件がありますので、詳細は資料をご確認ください。

-
- 3・福祉の施策が大きく変化していく中、重層的支援体制整備事業において、地域と福祉のつながりも変化しています。この中で「居住支援」は、どの様につながっていくものでしょうか？具体的な事例等がありましたら教えてください。

・「居住支援の現場でやっていること」で紹介のありました「ガイドブック」「サポートブック」1部いただけたらいただきたいです。

回答

愛知県岡崎市 福祉相談課 が参考となります。福祉相談課では、重層的支援体制が進んでおり、そこが岡崎市居住支援協議会と連携して行っています。入居後支援もつけています。不動産業者を守るのは住宅課で行っています。

（<https://www.youtube.com/watch?v=vY8DkusjBSc>）

広島県廿日市 福祉の相談窓口と住宅の相談窓口が隣同士のため、すぐに連携できる体制を組んでいます。

「ガイドブック」「サポートブック」につきましては、個別に質問者へお送りします。なお、ネットからも確認できます。

<http://www.machikyo.or.jp/kyojyushien/>

-
- 4・活動のコストの具体的な原資を教えてください。「補助金」という単語もありますが、どのような補助金でしょうか？

回答

補助金につきましては、国土交通省の資料を添付ファイルでつけますので、そちらでご確認ください。

また、居住支援法人への指定の申請をお考えでしたら、団体の確認の書類の提出等、いくつか手続きが必要になるため、東京都の担当課にご相談されることをお勧めします。

https://www.juutakuseisaku.metro.tokyo.lg.jp/juutaku_seisaku/kyojyushien.html